

平成19年度伊賀市の家計簿

平成19年4月1日から平成20年3月31日までの状況

平成19年4月1日から平成20年3月31日までの各会計予算の執行状況（3月31日現在）や、財産と負債の状況をお知らせします。なお、各会計の収入済額および支出済額の中には、平成20年4月1日から5月31日までの出納整理期間における収入・支出の額は含まれていません。

地方財政は、地方税収や地方交付税の原資となる国税収入が鈍化する中で、社会保障関係経費の自然増や公債費が高い水準で推移することにより、大幅な財源不足が生じることが想定されています。こうした状況を受けて歳出では、国の歳出予算と呼応して職員の定員の純減や地方単独事業費の抑制などを行う必要があります。伊賀市でも、税制改正や緩やかな景気の回復により税収入の増額が見込まれる一方、公債費や人件費などの經常的経費が高い割合を占め、厳しい財政運営が続いています。このような状況の中、市民の皆さんのご期待に応えていくため、引き続き行財政改革を断行し、財政の健全化を図りたいと考えています。

ここにお知らせする平成20年3月末現在の収支状況では、市税などの歳入が予算額を上回ることが予想され、歳出についても各経費について支出が抑えられることにより、繰越額が出るの見込まれますが、詳細な決算の状況は11月にお知らせいたします。

伊賀市長 今岡睦之

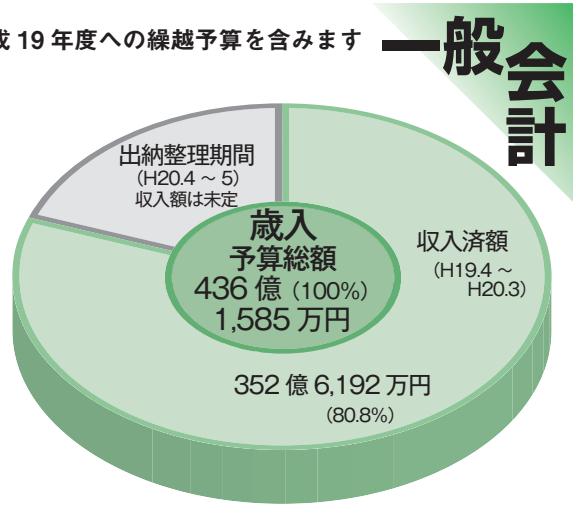
歳入状況

※平成18年度から平成19年度への繰越予算を含みます

歳入では予算総額436億1,585万円に対し、収入済額は352億6,192万円となり、予算総額に占める割合は、80.8%となっています。

このうち、市の予算を支える市税の収入は150億1,768万円で、収入済額に占める割合は、42.6%となっており、市税の予算額に対しては、99.0%の収入となっています。

一方、市が借金するお金である市債の収入済額は、6億7,880万円であり、市債の予算額に対し12.3%の収入となっています。これは、5月に借りる金額が多いためです。



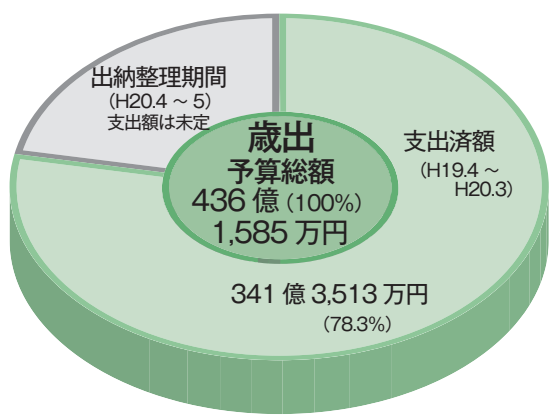
■市民一人当たりが負担する税額
14万8,916円(予算額に対して)

歳出状況

歳出では予算総額436億1,585万円に対し、支出済額341億3,513万円となり、予算総額に占める割合は78.3%となっています。

このうち、児童・障がい者・高齢者福祉などの経費である民生費の支出済額は96億9,624万円で、支出済額に占める割合は28.4%となっており、民生費の予算額に対しては86.1%の支出となっています。

また、市の借金を返済する経費である公債費の支出済額は63億6,717万円であり、公債費の予算額に対し、約99.9%の支出となっています。



■市民一人当たりを使う費用
42万8,000円(予算額に対して)

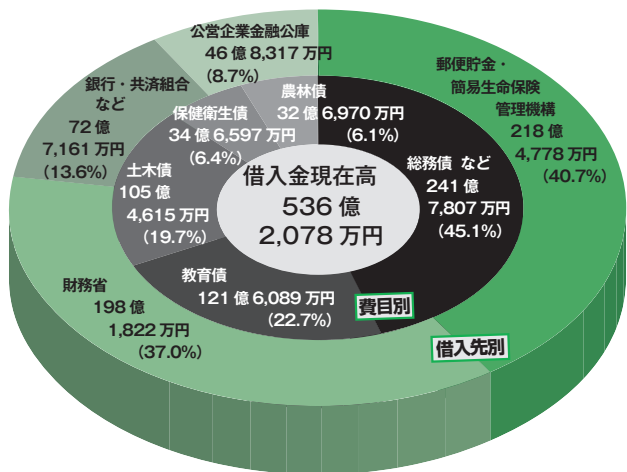
区分	予算額	収納額	収入割合%
市民税	64億8,210万円	64億1,463万円	99.0
固定資産税	77億5,099万円	77億1,290万円	99.5
軽自動車税	2億614万円	2億676万円	100.3
市たばこ税	6億4,500万円	6億394万円	93.6
鉱産税	22万円	22万円	100.0
都市計画税	1,048万円	139万円	13.3
入湯税	8,055万円	7,784万円	96.6
計	151億7,548万円	150億1,768万円	99.0

市税の状況

市民の皆さんに納めていただいた税金のうち、固定資産税がもっとも多く収入済額は77億1,290万円で、市税の収入済額に対し51.4%を占めています。また、市民税の収入済額は64億1,463万円で、市税収入済額に対して42.7%となっています。

◀収入割合は、円単位で算出した数値を記載

一般会計の市債(市の借金)の状況



3月31日現在、一般会計で536億2,078万円の借金があります。費目別では、学校建設などのために借りた教育債が121億6,089万円で全体の22.7%を占めています。

特別会計・財産区特別会計

市には、国民健康保険事業など11の特別会計と2つの財産区特別会計があります。

それぞれの収入・支出の状況は下の表のとおりです。

11の会計の収入済額は268億3,797万円で、予算額に対し83.8%となっています。支出済額は272億2,372万円で、予算額に対し85.0%となっています。

また、特別会計の借入金残高は210億5,094万円となっています。

特別会計

特別会計 歳入歳出の状況

	会計名	予算額 A	歳入		歳出	
			収入済額 B	B/A%	支出済額 C	C/A%
特別会計	国民健康保険事業	95億 4,719万円	82億 9,065万円	86.8	86億 3,658万円	90.5
	簡易水道事業	11億 4,283万円	7億 5,557万円	66.1	8億 557万円	70.5
	住宅新築資金等貸付	1億 8,613万円	9,001万円	48.4	1億 8,563万円	99.7
	駐車場事業	6,184万円	5,759万円	93.1	3,044万円	49.2
	老人保健事業	94億 1,836万円	84億 2,082万円	89.4	84億 2,849万円	89.5
	介護保険事業	69億 2,895万円	63億 3,108万円	91.4	62億 1,454万円	89.7
	農業集落排水事業	15億 2,709万円	10億 2,227万円	66.9	9億 9,798万円	65.4
	公共下水道事業	25億 6,619万円	17億 1,999万円	67.0	16億 5,508万円	64.5
	浄化槽事業	4,637万円	1,474万円	31.8	3,301万円	71.2
	サービスエリア事業	2,187万円	2,103万円	96.2	644万円	29.4
財産区	市街地再開発事業	5億 2,691万円	7,337万円	13.9	2億 1,617万円	41.0
	島ヶ原財産区	3,156万円	3,156万円	100.0	894万円	28.3
	大山田財産区	928万円	929万円	100.0	485万円	52.3
	計	320億 1,457万円	268億 3,797万円	83.8	272億 2,372万円	85.0

◀B/AとC/Aの割合は、円単位で算出した数値を記載

特別会計 市債の状況

会計名	残高	内 訳	
		借入先	残高
国民健康保険事業(直営診療所)	3,604万円	財務省	2,874万円
		銀行・共済組合など	730万円
簡易水道事業	47億 5,849万円	財務省	33億 5,258万円
		公営企業金融公庫	14億 591万円
		郵便貯金・簡易生命保険管理機構	4億 1,745万円
住宅新築資金等貸付	4億 1,745万円	銀行・共済組合など	492万円
介護保険事業	492万円	財務省	51億 5,814万円
		郵便貯金・簡易生命保険管理機構	2,461万円
		公営企業金融公庫	31億 2,620万円
農業集落排水事業	83億 895万円	財務省	45億 9,475万円
		郵便貯金・簡易生命保険管理機構	2,657万円
		公営企業金融公庫	28億 3,767万円
公共下水道事業	74億 5,899万円	財務省	45億 9,475万円
浄化槽事業	6,610万円	郵便貯金・簡易生命保険管理機構	2,657万円
		公営企業金融公庫	28億 3,767万円
計	210億 5,094万円	計	210億 5,094万円

基金の状況

基金とは、家計に例えると貯金のようなものです。基金の総額は123億6,654万円で、土地は17,388.82㎡です。

※主なものは次のとおりです

- ・財政調整基金 27億 2,484万円
- ・伊賀市振興基金 16億 463万円
- ・公共施設等整備基金 9億 2,053万円
- ・芭蕉翁顕彰事業基金 7億 2,626万円